

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
小学校	九度山町立 九度山小学校	和田 晋一
学校所在地		
〒648-0101 和歌山県伊都郡九度山町九度山1077 tel 0736 (54) 2078 fax 0736 (54) 4920		
担当者名		役職名・担当教科
古崎 紀佑		教諭・6年生担任
<p>〔学校の概要〕 九度山町は高野山の麓にあり、緑の山と清流、四季折々の風情を彩る豊かな自然に恵まれた地域である。また、全校児童は94名、校区には世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」を構成する高野町石道の一部である「慈尊院」「丹生官省符神社」がある。その他「真田庵」として知られる高野山真言宗の寺院「善名称院」等があり、6年生は総合的な学習の時間でこれらの史跡を教材として活用している。</p>		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
6年生 19名	職員 3名	紙遊苑・慈尊院・金剛峯寺・高野山壇上伽藍等
実践研究テーマ		
学校や地域に誇りを持つ児童の育成 ～自分たちの学校・地域のよさや素晴らしさを感じて～		
実践教科等名	単元名	
総合的な学習の時間（真田タイム）	・素晴らしい日本の宝（日本の世界遺産を調べよう） ・伝えよう！九度山の宝	
<p>〔キーワード〕 世界遺産学習 伝統文化 九度山の宝</p>		
<p>〔単元目標〕 (1) 多様な体験活動を通して、自己の課題を見つけ、見通しを立てながら主体的に課題解決に取り組む。(追求力) (2) 自分の考えや意見を、相手に応じて方法を工夫して伝える。(表現力) (3) 互いのよさや違いを認め合い、ともに協力し、学び合う。(協調力) (4) 自分の活動したことや考えたことを振り返ることにより、自信をもって、よりよい生活を創り出す。(生活力)</p>		
<p>〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕 全体 35 時間 （・日本の世界遺産を調べよう・町石道を歩いて高野山の自然と文化にふれよう／25時間）</p>		
<p>〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕</p> <p>(1) 和歌山県世界遺産センター ……次世代育成事業（世界遺産講座、現地学習等） (2) 九度山町教育委員会・紙遊苑 ……紙すき体験</p>		

実践校に関する事項			
〔単元指導計画概要〕			
	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	○日本の世界遺産について調べよう ・世界遺産とは何か学習する。 ・世界遺産を調べる方法を計画する。	・どんな世界遺産があるのかを調べる方法について、図書室やインターネットの活用について指導する。	(追求力) 観察・ワークシート
2	○世界遺産について詳しく調べよう ・世界遺産の中から、自分の調べたい物を選ぶ。 ・友達と協力し、図書やインターネットを使い、調べる。 ・調べたことを発表する。	・自分の興味関心があることを見つけ、自己決定できるよう、複数の資料に触れさせる。 ・調べる観点を示し、共通の項目について調べられるようにする。 ・調べたことをスライドにまとめ、発表させる。	(追求力) ワークシート (追求力・協調力) 観察・ワークシート (表現力) まとめ資料・感想
3	○町石道や世界遺産、高野山の自然と文化にふれよう ・町石道を歩き、世界遺産マスターの方の説明を受け、世界遺産について学習する。	・体験活動を通して、伝統文化についての理解を深める。 ・校外学習等、外部人材からの説明を聞く際に意識する点等を指導する。 ・ワークシートを活用し、学習内容を記録させる。	(追求力・協調力) 感想 (追求力) ワークシート (表現力) まとめ資料・感想
4	○九度山の宝について考えよう ・紙すき体験をする。 ・九度山の宝についてテーマを選ぶ。 ・本や資料集、インターネットから情報を集め、まとめる。 ・まとめた内容を発信する。	・興味を持ったり、疑問に思ったりしたことについて調べ、追求するように助言する。 ・調べたことを資料として活用する際、必要な情報を選択するよう助言する。 ・まとめた内容を学級で発表する。	(追求力) ワークシート (表現力) 発表・スライド資料
〔単元学習の成果と課題〕			
<p>【成果】本や資料、インターネットから情報を得た後に、実際に現地で世界遺産に触れたことによって、学んだ内容の理解を深めることができた。また、調べていく中で、自分たちの身近な地域に世界遺産があるということを実感し、歴史的な背景や関わりのある人物、伝統文化に興味をもって熱心に調べる姿が見られるようになった。地域学習の楽しさや、新たな発見に出合えることの喜びから、故郷に誇りをもてた。学習後のまとめでは、現地で興味をもったことを、さらに詳しく調べたり、疑問に感じたことを話し合ったりすることで学びを深めることができた。</p> <p>【課題】世界遺産を学ぶ上で、九度山町との結びつきを深く学ばせる必要があった。世界遺産と自分たちの故郷が、どのようにつながっているのかを学ぶことで、世界遺産と故郷の両方に対して誇りを持ち、そのよさに気づくことができたように思う。</p>			
〔世界遺産学習の効果〕			
<ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産について学ぶことにより、次の世代にも残しておくべき大切なものとして、自分たちが今どのようなことをできるのかを考えるよい機会となった。 ・世界遺産マスターの説明を聞きながらの現地学習により、身近な史跡や文化財にも興味をもつ児童が多く見られた。 ・身近な地域の世界遺産について理解を深めたり、伝統文化を体験したりすることによって、それらを尊重し、地域を誇りに思う心情を養うことにつながった。 ・自分の地域に世界遺産があることを嬉しく思い、他の国内外の世界遺産についても、もっと調べたいと思う児童が増えた。 			
〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕			
<p>世界遺産についての知識、歴史的背景などについて学んだことを、自分の足で歩き、実際に体験することが児童にとって高い学習効果をもたらした。しかし、なぜ保全する必要があるのかということや、自分たちがその担い手として、できることは何かというところにまで深く迫るのが難しい。世界遺産の価値や希少性ゆえに、自然破壊や地元の人々の暮らしへの影響などの課題があることに気づかせ、自分たちが保全し、受け継いでいくべきであると実感させながら切実感に迫っていきたい。</p>			

様式 2

令和7年度 「次世代育成事業」における学習記録

[概要報告書 学習記録・活動写真]

フィールド：現地学習（慈尊院～丹生都比売神社） 日付 令和7年12月5日（金）



事前に行っていた世界遺産講座では、日本や世界にある世界遺産のことなど子ども達が知らない知識をたくさん教えていただいた。また、自分たちの地域の世界遺産を未来へ伝えていくためには、よさを発信するだけでなく、世界遺産を保護する活動も大切であるということも学ぶことができた。

現地学習では、2つのグループに分かれ、世界遺産マスターの方々から慈尊院や町石道、壇上伽藍等の説明をしていただき、自分たちの地域にある世界遺産について学ぶことができた。実際に歩きながら世界遺産を体験することによって、素晴らしさや価値を肌で感じることもできた。

フィールド：現地学習（壇上伽藍～金剛峯寺） 日付 令和7年12月5日（金）



児童の感想

- ・神社とお寺が同じ場所にあるということが世界的にも珍しく、神仏習合という言葉で表されることを初めて知りました。
- ・元々、知っていることばかりだと思っていたけど、様々な歴史を学ぶことで、自分の知らないことがどんどん学べるのが楽しかったです。
- ・慈尊院までの道路も世界遺産の一部だと初めて知りました。
- ・現地学習で学んだことを家族に教えてあげたいと思いました。
- ・壇上伽藍内にある、仏像の手の形一つ一つに、それぞれ意味があることを知り、とても驚きました。

フィールド：紙遊苑 日付 令和7年12月12日（金）



紙遊苑では、卒業証書を自らの手で作るため、紙すきに挑戦した。ここで行う紙すきでは、「コウゾ」という木の繊維を使って紙作りを行う。児童は、冷たい水に手をつけながら、一生懸命自分の卒業証書作りに取り組んだ。木枠を何度も水にくぐらせ、きれいに作ろうと丁寧に紙をすいていた。この日作った紙は、卒業証書に使われ、3月の卒業式で一人一人に手渡される。世界でたった一枚しかない卒業証書に、児童は完成を楽しみにしている様子であった。



児童の感想

- ・何度も水をすくって、木枠に紙を薄く広げていく行程がとても楽しかったです。
- ・最初の説明のときは、難しそうで不安でしたが、横で一緒に手伝ってもらいながら取り組めたことで、上手にできました。
- ・昔の人たちの技術はすごいものだと感じました。
- ・卒業証書を自分の手で作ることができるという、他の学校ではできない経験ができ、特別感がありました。